

135

5

992

治安裁判所出張所訴訟人心得

治安裁判所出張所假規程

群馬縣告示第五十九號

出張裁判開廷場所管轄區域及期日表

No 23414/22

治安裁判所出張所訴訟人心得

民事

第一條 訴訟ハ書面若クハ口頭ヲ以テ之ヲ爲ス

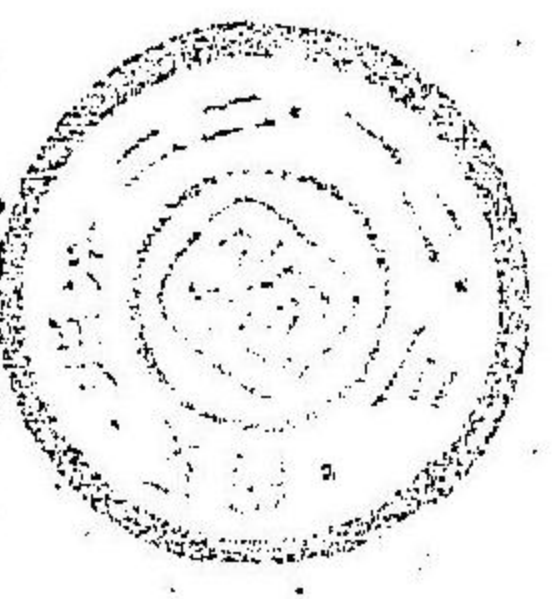
但訴訟ハ勸解ヲ經由セサルモ妨ケナキモノトス

第二條 書面ヲ以テ訴答ヲ爲スモノハ訴答文例ニ從

ヒ且ツ各正本ニ相當印紙ヲ貼用シ正副二通ヲ差出

ス

訴訟關係人數名アルハ時宜ニ依リ其數ニ應シタル副本ヲ差出サシムルヲアルヘシ



第三條 口頭ノ訴ヲ爲ス者ハ其要領ヲ第二號書式ノ名刺ニ記載シ口頭ノ答辨ヲ爲ス者ハ第一號書式ノ名刺ニ其要領ヲ記載シ各相當印紙ヲ貼用シ且署名捺印シテ差出スヘシ

第四條 訴答ノ爲メ後見人代言人及代人ヲ差出スルハ後見人ハ其証明代言人及ヒ代人ハ第三號書式ノ委任狀本紙第四號書式ノ代人願書第五號書式ノ上申書ヲ差出スヘシ

呼 出

第五條 對手人ノ呼出ヲ請フキハ第七號書式ノ願書

第六號書式ノ受書ヲ差出サシムヘシ

原被告ニ於テ証人引合人鑑定人評價人ノ呼出ヲ請フキハ第八號第九號書式ノ願書ニ相當印紙ヲ貼用シ署名捺印シテ差出シ且ツ第六號書式ノ受書ヲ差出スヘシ

第六條 証人引合人鑑定人評價人ノ呼出ヲ請フモノハ裁判所ノ命令アルキハ銀行預リ切符ニ第十號書式ノ上納書ヲ添ヘ費用ヲ豫納スヘシ
豫納金ノ下付アリタルキハ領收証ヲ返納スヘシ

第七條 呼出狀ハ往復ヲ除キ一日ノ猶豫ヲナスモノ

トス

但シ裁判所所在地ノモノハ此限リニアラス

第八條 呼出狀送達者ハ呼出狀裏面へ呼出ヲ受ルモノヲシテ署名捺印セシメタル上表面ヲ渡シ裏面ハ裁判所へ差出スヘシ

勸解

第九條 勸解ヲ請フモノハ甲第三十四號書式ノ願書ヲ差出シ乙第三拾四號書式ノ用紙ニ請願ノ要領ヲ明記シ印紙貼用ノ上署名捺印スヘシ

第十條 後見人又ハ代人ヲ以テ出願スルモノハ第四

條ノ手續ニ依ルヘシ

第十一條 呼出願ハ口頭ヲ以テ爲スコトヲ得

但呼出狀ハ總テ其請願者ヲシテ送達セシム

第十二條 調和若クハ証拠物取調ノ爲メ勸解延期ヲ

乞フモノハ第三十五號書式ノ願書ヲ差出スヘシ

第十三條 調和ノ席前ニ係ルモノハ甲第三十六號書

式席後ニ係ルモノハ乙第三十六號書式ノ濟口書ヲ

差出スヘシ

明治二十二年十一月五日

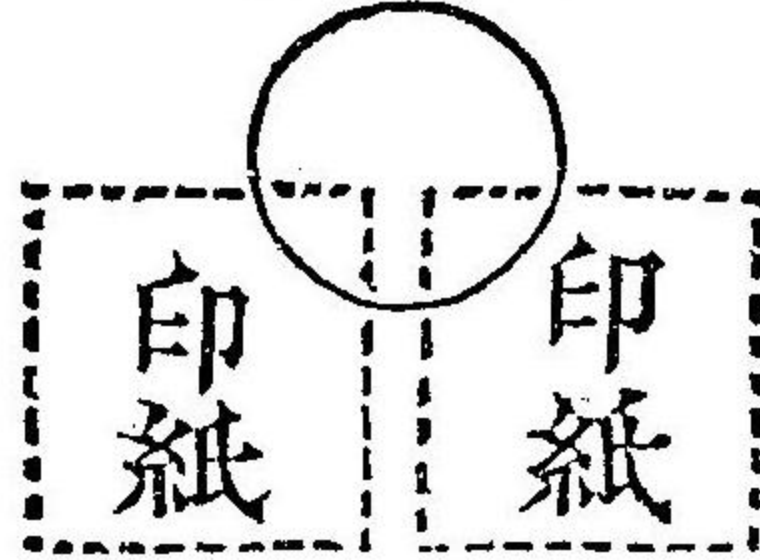
前橋始審裁判所

(第一號書式)

名刺書式

(半紙四ツ切)

被告頭口答辨ノキトハ印紙貼用ス



(新訴原告訴狀ヲ呈スルルハ)新訴トス

(原告對審出頭ノ証人引合人出頭ハ)第何號トス

何ノ府何ノ國何ノ市何ノ町何ノ郡何ノ村何ノ大字何ノ番地

(寄留人ハ寄留所止宿人ハ止宿所等モ記載スヘシ)

士族何ノ職業(代理人ナルルハ委任平民何ノ職業(者ノ住居身分職業姓名ヲ肩書ニ爲シ自己ノ住居身分職業姓名ヲ書スヘシ)

何ノ誰

(權利者義務者)

(原告ナレハ)被告何之誰ニ掛ル何之訴事件

(但被告數名アルルハ被告何之誰外何名ニ

掛ルトス)

(被告ナレハ)原告何之誰ヨリ掛ル何之訴答事件

(但原告數名アルルハ原告何之誰

外何名ヨリ掛ルトス)

(証人引合人鑑定人ナレハ)原告何之誰ヨリ被告何之誰ニ掛ル何之訴訟(証人鑑定)ノ件

(權利者ナレハ)義務者何ノ誰ニ掛ル執行若クハ身代限若クハ財產公賣濟方事件(義務者ナレハ)上記權利者ヨリ相掛ル事件

年 月 日

(第二號書式)

名刺

(用紙白半紙)

一何年何月何日付貸付証書

(証書ナキ分ハ何年何月何日貸付トス)

一何年何月何日期限

一元米何程

何府何國何市何町何村何大字何村何番地(寄留人ハ)

印紙 印紙 印紙 印紙

(又ハ契約金何程)
(又見積金何程)

一利米何程
合米何程請求高

何年何月何日

寄留所又止宿人ハ止
宿所トモ記載スヘシ

士族何職業 (代言人代人ナルルハ委任者
ニナシ自己ノ住所身分
職業姓名捺印スヘシ)

何之誰

(原告人數名ナルル夫
々記載スルモノトス)

府何國何市何町何番地
縣何國何郡何村何番地
士族何職業
平民何職業

何之誰

(被告人數名ナルル夫
々記載スヘシ)

〔第三號書式〕

委任狀

拙者儀(何々ノ事故有之)何ノ府何ノ國何ノ市何ノ町何ノ番地士族何ノ
(病氣ニ付)何ノ縣何ノ國何ノ郡何ノ村何ノ番地平民何ノ

職業何之誰ヲ以部理代人ト相定メ拙者名義ニテ左ノ權限ノ事ヲ代理爲致候事

一被告何ノ府何ノ國何ノ市何ノ町何ノ番地士族何ノ職業何之誰ニ相掛ル何々

ノ訴求(原告何ノ府何ノ國何ノ市何ノ町何ノ番地何ノ誰ヨリ相掛ル何々訴訟
答辨)事件裁判言渡迄ノ事

(和解濟方ニ至ル迄委任スル者ハ其和解濟口ヲ委任スル理由ヲ明記ス可キモノト
ス)

右部理代委任狀依テ如件

年 月 日

何ノ府何ノ國何ノ市何ノ町何ノ番地士族何職業
縣何ノ國何ノ郡何ノ村何ノ番地平民何職業

何之誰印

〔第四號書式〕

代人願

何府何國何市何町何番地
何縣何國何郡何村何大字何
代 人 何 誰

右者被告何ノ縣何ノ國何ノ郡何ノ町何番地何ノ職業何ノ誰ニ相掛ル
何ノ訴訟事件ニ付(右ハ原告何ノ縣何ノ國何ノ郡何ノ町何番地何ノ職業何ノ誰ヨリ相掛ル何ノ訴訟答辦事件ニ付)親ヲ出頭可致處何々ノ事故有之
出頭難相整代言人ニ依頼スヘキ者無之ニ付(親屬父母子孫兄弟姉妹伯父伯母姪從弟及ヒ故舊)
何ノ誰ヲ代人ニ差出度候間御許可被成下度代人ト連署ヲ以テ此段奉願候也

何縣何國何郡何町何番地何職業
何 何 誰印

年 月 日

代 人 何 之 誰印

何治安裁判所何出張所

何判事 何ノ誰 殿

〔第五號書式〕

上 申 書

何ノ府何ノ國何ノ市何ノ町何番地何職業
何ノ縣何ノ國何ノ郡何ノ村何大字何ノ町何番地何職業
何ノ誰代人 何ノ誰

自分義左ノ條項ニ抵觸セザル者ニ付本訴代人御許可被成下度奉願候也
一本訴ノ外目下詞訟代人ノ委托ヲ受居リ不申候

- 一 盜罪又ハ詐偽取財ノ刑罰ヲ受ケタルヲ無之候
- 一 目下刑事被告ト相成居リ不申候
- 一 身代限ノ所分ヲ受タルヲ無之候
- 一 代言停業又ハ代言除名ノ所分ヲ受ケタルヲ無之候
- 一 丁年未滿ノ者ニハ無之候
- 一 本人ト何々(緣故ノ理由)ノ者ニ有之候

年 月 日

右

何 / 誰

何治安裁判所何出張所

何判事 何 / 誰 殿

〔第六號書式〕

受 書

被告何ノ誰ニ相掛ル何々ノ訴訟(原告何ノ誰ヨリ相掛ル何々ノ訴答)事件ニ付被告
 (原告)(証人引合人鑑定人)ニ送達スヘキ呼出狀(命令書)御下付相成正ニ受取候依テ
 被告へ(原告)(証人引合人鑑定人)へ送達可致候然ル上ハ被告(原告)(証人引合人鑑
 定人)ヲシテ呼出狀(命令書)ノ裏面受書ニ記名調印ナサレメ之レヲ受取り何年何月
 何日午前第何時証據物携へ出頭ノ砌リ右ノ受書差出可申候若シ右當日無届不參致ス
 トキハ欠席裁判言渡相成候トモ異議申上間敷候也

明治何年何月何日

何縣何國何市何町何村何大字何村何番地士族
 郡何村何番地平民

原告(被告) 何 / 誰印

何治安裁判所

何出張所

判事 何ノ誰殿

(第七號書式)

呼出願書

第何號

何縣何國何市何町何番地士族

掛何判事殿

(原告ナレハ)原告 何 之 誰
(被告ナレハ)被告

右者何々事件ニ付本日(或ハ何日)出頭スヘキ處出頭不致候故來ル何日午前第何時出頭スヘキ様御召喚奉願候也

明治何年何月何日

何縣何國何市何町何番地士族
(原告ナレハ)原告 何 之 誰
(被告ナレハ)被告 誰印

何治安裁判所

何出張所

判事 何ノ誰殿

(第八號書式)

呼出願書

第何號

何縣何國何市何町何番地士族

掛何判事殿

証人若クハ引合人 何 之 誰

右者被告何之誰ニ相掛ル(若クハ原告何ノ誰ヨリ相掛ル)何ノ訴訟事件ニ付証人(或ハ引合人)トシテ來ル何日午前第何時出頭致候様御召喚奉願候也

但辨償スヘキ入費金ハ豫納可致候也

何府何國何市何町何番地士族
何縣何國何郡何村何番地平民

明治何年何月何日

何ノ誰印

何治安裁判所

何出張所

判事 何ノ誰殿

〔第九號書式〕

呼出願書

第何號

鑑定人 一名若クハ何名

掛何判事殿

右者被告何ノ誰ニ相掛ル(若クハ原告何誰ヨリ相掛ル)何ノ訴訟事件ニ付鑑定人御廳ニ於テ御撰ノ上來ル何日午前何時出頭候様御召喚奉願候也

明治何年何月何日

何府何國何市何町何番地
何縣何郡何村何大字何村何番地
士族平民

原告若クハ被告 何ノ誰印

何治安裁判所

何出張所

何判事 何ノ誰殿

〔第十號書式〕

民第何號 上納書

一金何圓

但何ノ銀行手形

右ハ何年民第何號事件ニ付証人鑑定人引合人呼出入費金(右ハ何年執第何號事件財產假差押又ハ假差留保證金)トシテ豫納候也

明治何年何月何日

住所身分職業

原告被告權利者 何 之 誰印

何治安裁判所

何出張所

書記局

御中

〔甲第三十四號書式〕

住所身分職業 (代人ハ本人ノ住所身分職業姓名ヲ肩書シ自己ノ住所身分職業姓名捺印スルモノトス)

原告人 何 ノ 誰印

貸金ナルハ貸付年月日證書有無
元金利金合金請求ヲ明記ス
其他ハ請願ノ要領ヲ記載ス
一何々ノ勸解願

住所身分職業

年 月 日 被告 人 何 之 誰

〔乙第三十四號書式〕

(用紙ハ半紙二ツ折)

明治何年何月何日貸付

何縣何國何郡何町 大字何村何番地 (寄留人)

明治何年何月何日期限

所又止宿人ハ止宿

元金何程

士族何職業 (代人ハ本人ノ住所身分職業姓名ヲ肩書シ自己ノ住所身分職業姓名捺印ス)

利金何程

平民何職業 (代人ハ本人ノ住所身分職業姓名捺印ス)

合計米何程 請求高

原告 何 之 誰

証書有無

貸金催促勸解願又ハ貸付米請求勸解願

何縣何國何郡何町 大字何村何番地 (寄留人)

表
告

寄留所又止宿人ハ止
宿所共記載スヘシ
士族何職業
平民何職業

被告 何 之 誰

明治何年何月何日

掛

何治安裁判所

局	結

〔甲第三十六號書式〕

住所身分職業
代人ハ本人ノ住所身分職業
姓名ヲ肩書シ自己ノ住所身
分職業姓名捺印ヲ要ス

原告人 何 ノ 誰印

一何ノ勸解事件御席前濟口御居書

右ハ被告何縣何國何郡何町大字何村何番地士族平民何ノ誰ニ相掛ル何ノ勸解一件御席前
濟方ノ次第左ニ

一原告請求金額悉皆何月何日受取濟又ハ内金何程何月何日受取殘金何程ハ何月何日
付新規証書ヲ受取又ハ何ノ事柄相濟タルヲ詳細ヲ要ス

前記ノ通り被告ヨリ義務相果候間被告ノ連署ヲ要サス原告一名ニテ濟方御届申上候
也

年 月 日

何治安裁判所何出張所

何判事 何ノ誰殿

〔乙第三十六號書式〕

住所身分職業(代人ハ甲第三十四號書式ニ同)

原告 何ノ誰印

一何ノ勸解事件席後濟口御届

住所身分職業(代人ハ右同シ)

被告 何ノ誰印

右勸解事件御説諭ニ基キ濟口ノ次第左ニ

一原告請求金額悉皆何月何日受渡相濟又ハ内金何程何月何日受渡相濟殘金何程ハ何
月何日付新規証書受渡相濟又ハ何ノ事柄相濟ミタルヲ詳細

前記ノ通り濟方仕候間原告被告連署ヲ以テ濟口御届申上候也

年 月 日

何治安裁判所何出張所

何判事 何ノ誰殿

朕治安裁判所出張所裁判仮規程ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

明治二十二年五月廿日

内閣大臣
司法大臣

第一條 治安裁判所出張ニ於テ取扱民事々件ハ左ノ如シ

一金錢其他換用物若クハ有價証券ノ一定シタル員額又ハ特定ノ物品ニ對スル請求

二建物ノ全部若クハ一部ノ明渡又ハ修繕ノ請求前二項之事件ハ原告被告其管轄區域内ニ現在スルカ若クハ原告被告共ニ出廷シテ審問裁判ヲ請フ限ル

三勸解

第二條 前條ニ記載セル事件タリテ急速ノ取調ヲ要シ出張裁判開始ノ期ヲ待チ難キモノ又ハ第二ノ事件ニシテ契約ニ付爭アルモノハ従前ノ通り治安裁判所

本廳ニ於テ取扱ハシム

第三條 出張裁判ノ管轄區域開庭ノ場所及ヒ期日ハ司法大臣ノ告示ヲ以テ之ヲ定ム

出張スヘキ裁判官ハ毎年每期管轄始審裁判所長之レヲ定ム

第四條 出張裁判官ハ繁雜ナリト認ムル事件ヲ治安裁判所本廳ニ移スノ命令ヲ爲スヲ得

第五條 出張裁判ヲ開ク可キ場所ニ該ル治安裁判所出張所ハ豫メ訴狀ノ送達其他期日ニ至リ直チニ審問裁判ヲ爲スニ必要ナル手續ヲナス可シ

書類ハ原告人ヲシテ送達セシム可シ

第六條 裁判及ヒ命令ノ執行ニシテ開期内ニ終結シ難キモノ及ヒ執行ニ關シ出張裁判閉期後ニ起ル故障ハ治安裁判所本廳ニ於テ取扱ハシム

群馬縣告示第五十九號

明治二十二年十月十日司法省告示第十號ニ依リ前橋始審裁判所管内各治安裁判所出張所ニ於テ左記日割之通出張裁判開設候旨同始審裁判所ヨリ通知ニ付此旨告示ス

明治二十二年十月廿五日

群馬縣知事 佐藤 與三

前橋治安裁判所

沼田出張所

伊勢崎出張所

太田治安裁判所

桐生出張所

右三ヶ所ハ明治廿二年十一月十一日ヨリ開廷全年十二月一日閉廷

前橋治安裁判所

中之條出張所

太田治安裁判所

館林出張所

右二ヶ所ハ明治廿二年十二月三日ヨリ開廷全年廿三日閉廷

前橋治安裁判所

澁川出張所

右一ヶ所ハ明治廿三年一月八日ヨリ開廷全年廿八日閉廷

高崎治安裁判所

万場出張所

右一ヶ所ハ明治廿二年十一月十一日ヨリ開廷全年廿四日閉廷

高崎治安裁判所

安中出張所

藤岡出張所

右一ヶ所ハ明治廿二年十一月廿六日ヨリ開廷全年十二月二十四日閉廷

高崎治安裁判所

富岡出張所

右一ヶ所ハ明治廿三年一月四日ヨリ開廷全月三十一日閉廷

各治安裁判所出張所ニ於テハ開庭前民事訴訟並ニ勸解願共受理スルモノトス但時宜ニ依リ開廷中ト雖モ閉廷期日ヨリ前七日迄ハ之ヲ受理スヘシ

司法省告示第十號

出張裁判開廷場所管轄區域及期日表

橋		前							
太田		高崎			前橋				
桐生	館林	藤岡	万場	富岡	安中	中之條	沼田	伊勢崎	澁川
桐生	館林	藤岡	万場	富岡	安中	中之條	沼田	伊勢崎	澁川
出張所管内一圓同	出張所管内一圓同	吉井岡兩出張所管内一圓同	出張所管内一圓同	富岡兩出張所管内一圓同	安中出張所管内一圓同	長ノ原兩出張所管内一圓同	沼田兩出張所管内一圓同	伊勢崎出張所管内一圓同	出張所管内一圓同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	自二月自五月自八月自十一月各二十 至四月至七月至十月至一月一日間

右一ヶ所ハ明治廿二年十一月廿六日ヨリ開廷全年十二月二十四日閉廷

高崎治安裁判所

富岡出張所

右一ヶ所ハ明治廿三年一月四日ヨリ開廷全月三十一日閉廷

各治安裁判所出張所ニ於テハ開庭前民事訴訟並ニ勸解願共受理スルモノトス但時宜ニ依リ開廷中ト雖モ閉廷期日ヨリ前七日迄ハ之ヲ受理スヘシ

司法省告示第十號

出張裁判開廷場所管轄區域及期日表

橋		前							
太田		高崎			前橋				
桐生	館林	藤岡	万場	富岡	安中	中之條	沼田	伊勢崎	澁川
桐生	館林	藤岡 吉井	万場	富岡 下仁田	安中	中之條 長ノ原	沼田 月夜野	伊勢崎	澁川
出張所管内一圓同	出張所管内一圓同	出張所管内一圓同	出張所管内一圓同	出張所管内一圓同	出張所管内一圓同	出張所管内一圓同	出張所管内一圓同	出張所管内一圓同	出張所管内一圓同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	自二月自五月自八月自十一月各二十 至四月至七月至十月至一月一日間

明治二十二年十一月十八日御届
同 年同 月十九日出版

定價金拾貳錢五厘

編輯者兼印刷者

西村 弘

群馬縣西群馬郡高崎
町大字弓町五番地

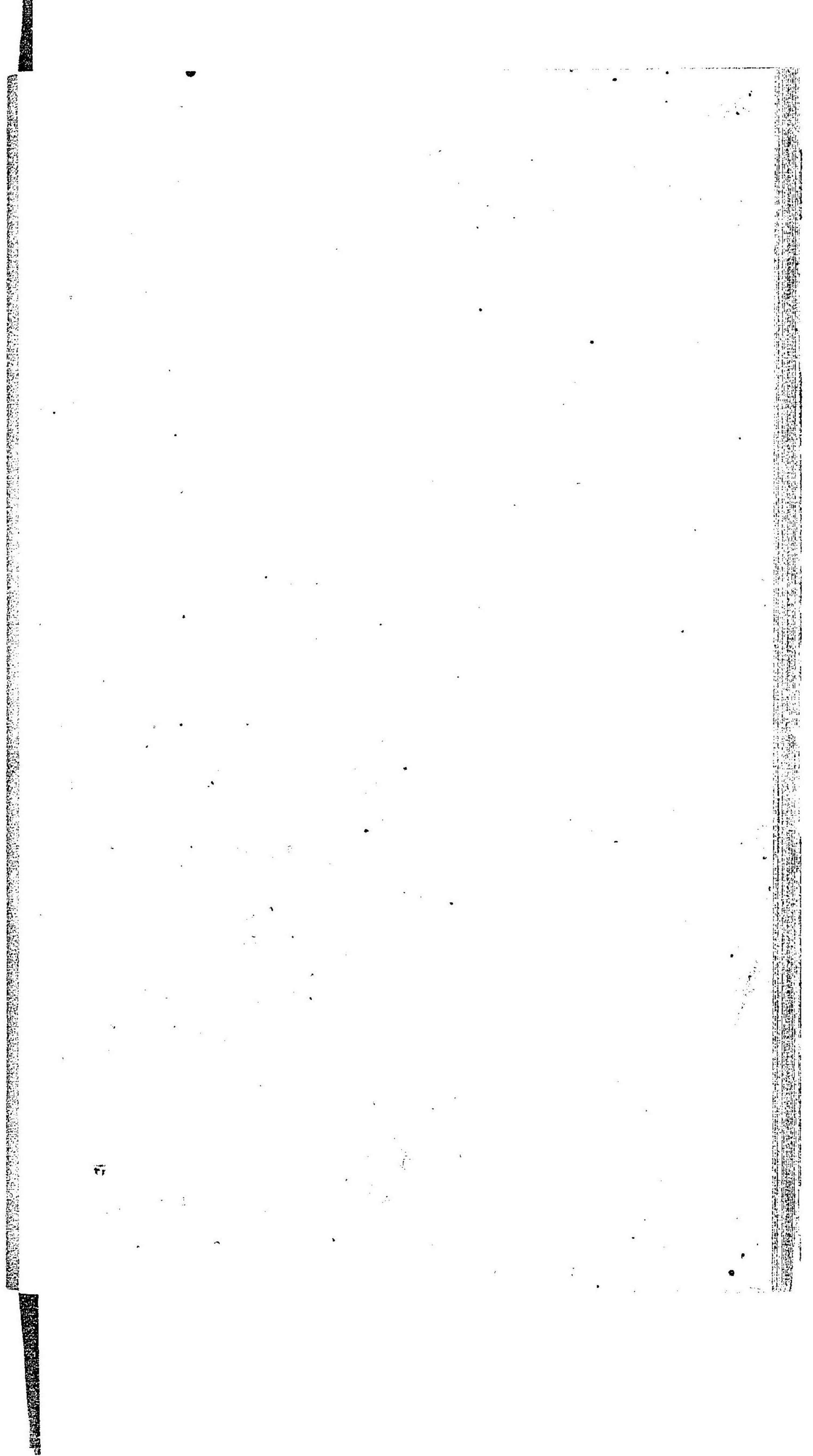
發行者 市川 忠 貫

群馬縣西群馬郡高崎
町大字龍見町九番地

印刷所及

日 新 社

群馬縣西群馬郡高崎
町大字本町九十番地



43
5
99

治安裁判所出張所訴訟人心得

治安裁判所出張所假規程

群馬縣告示第五十九號

出張裁判開廷場所管轄區域及期日表

036486-000-7

特54-464

治安裁判所出張所訴訟人心得

西村 弘/編

M22

BBR-0168

